

アビドゥルグループの研究成果が "The Plant Cell" に掲載されました。岩手大学農学部寒冷バイオフィロンティア研究センターのラーマン・アビドゥル博士のグループでは、最近、植物科学専門誌中では一位にランクされる国際誌 The Plant Cell（ここ5年間におけるインパクトファクターは 10.12 です）に、その研究成果が掲載されました。この論文では高温ストレスと植物ホルモンによる成長制御との関係について焦点を当てており、その中で、高温下におけるオーキシン増加と植物の成長が関連する新しいメカニズムを提唱しています。特に、細胞内におけるオーキシン濃度の恒常性維持が、植物の高温適応のキーファクターとなることを示しています。この研究は、同じく寒冷バイオフィロンティア研究センターの河村幸男博士およびフランス INRA の Thierry Gaude 博士との共同研究により行われました。また、アビドゥルグループではここ4年で、この論文を含めて3報の論文が The Plant Cell に掲載されましたが、このことは特筆に値します。掲載された論文は下記の URL で確認でき、岩手大学内では自由にダウンロードができます。

<http://www.plantcell.org/content/early/recent>